

2025年8月27日

各 位

株式会社 大垣共立銀行

扶桑町およびバイウィルとの
「カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」の締結



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、扶桑町（町長 鯖瀬 武）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎）と「カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を下記の通り締結しました。

本協定は、OKB大垣共立銀行と扶桑町およびバイウィルがJ-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO₂削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルの実現に寄与することを目的とするものです。

扶桑町は、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指すため、扶桑町地球温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。また、2025年度からは「ふそう環境まちづくりプラン」に基づき、環境を保全・向上させて次の世代に引き継いでいくため、同町の環境の将来像として「次世代のみんなが 笑顔になる環境を 継承するまち」を掲げています。

OKB大垣共立銀行は、“環境価値と経済価値の循環”を支援するバイウィルと連携し、扶桑町内の環境貢献努力によって創出されるJ-クレジットの「地産地消」をサポートすることにより、扶桑町のカーボンニュートラル達成への貢献を目指します。

記

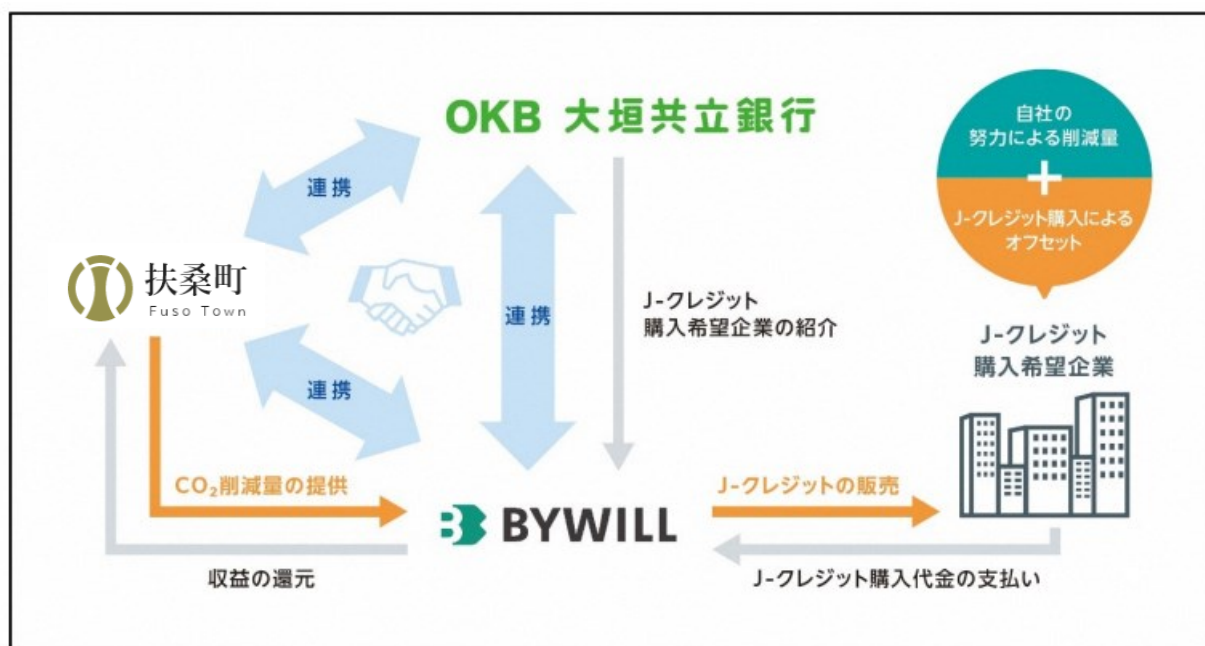
■連携協定の概要

名 称	カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定
締 結 日	2025年8月27日（水）
締 結 者	OKB大垣共立銀行、扶桑町、株式会社バイウィル
目 的	J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO ₂ 削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与する
連携内容	1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどの提供 2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出 3) その他、本協定の目的に資すると認める事項

以 上



【連携協定内容のイメージ】



以上